

5月定例山行

5月29～30日 臥竜山

参加者 13名 (+3名)

(地元農業研修生2名ほか  
千葉県のバイク旅行者1名)

CL若木 SL中島康

佐々木敏、島田、松尾  
永谷、宮木夫妻、熊野  
竹野夫妻、入江、小寺



### 中島さんの山荘で大宴会 (29日)

平年よりずいぶん早いつゆの入りで朝からどんよりした曇り空。15時、戸河内道の駅に集合したみんなは「こりゃ、夜は雨で」と鳩首会談の末、キャンプを止めて中島さんの山荘にお邪魔することにして進路を東に変更した。大泊ダムの橋から左へ、くねくねと山道に行くこと約20分、ついに来ました昔新築の大豪邸に。

少しカビの匂いはするけれどカエルの大合唱にみんな大満足。早速永谷ナベ奉行指揮の下、シシ肉、シカ肉のにおいもあたりに立ち込め乾杯の大宴会となった。

地元農業研修生2人のヤングと彼女たちの友人で千葉県からのバイク旅行中と言う素敵女性も飛び入り参加。私用で遅くなった山荘オーナーの中島さんも加わり座はますます盛り上がった。

早朝登山、

### アカショウビンもお出迎 (30日)

夜半激しい雨音に目が覚めたが、5時頃には小休止の様子となっていた。昨夜のムスビを2個ずつ持って5時40分臥龍山の登山口へ出発した。竹野栄子さんは

体調を崩して、入江さんは少し寝不足だからと二人には留守番をしていただくことになった。

6時30分千町原の登山口から出発。雪嶺水の所で朝食をとり終えたとき待望のアカショウビンのお出迎え、キョロロキョロロと特徴のある声で挨拶をしてくれた。

普通の山行なら今頃(朝8時30分)家を出る頃だねと話しながら頂上へ向かう。大きなブナの樹も早朝の霧の中でなんとなく神秘的な様子である。猿木峠を回ってゆっくり下山、ちょうどカキツバタ祭りであつて篠笛が演奏されていた。

うまいナベもたらふく食べたし、目的のアカショウビンの声も聞かれたし、なんと幸せな二日間だったのだろうと感謝の気持ちで14時山荘を後にした。

中島さん、永谷さん大変お世話になりました。こんな楽しい山行なら何度でもやりたいね。(松尾さんは留守番の入江さんにワラビのおみやげ、優しいね)

(記 若木 一之)